

災害対応シミュレーション



県立尼崎西高等学校の研修の様子

兵庫県教育委員会事務局

教育企画課

1. 研修の目的

災害発生時の動きを災害のシナリオと災害対応マニュアルをもとにシミュレーションすることで、連携等を確認し、マニュアルの課題や問題点の把握に活かす。

【この研修により生み出される効果】

- 緊迫した状況により災害発生時の状況をイメージできる。
- 災害時の意思決定や対応行動の訓練となる。
- 混乱した状況で、情報の収集、整理、伝達、共有化を迅速かつ確実に行うための課題を見つけることができる。

2. 研修の進め方

(1) 《説明》研修の進め方【6分】

- ①班長(又は主任)、付与カード記入者(副担任・班員)、情報カード伝達者(担任・班員)を分担する。
- ②各班に状況を伝える「状況付与カード」を配布する。
- ③研修は、付与された状況に対して、各班で災害対応マニュアルをもとに対応する。

(2) 《研修》【45分】

- ①付与された状況に対応する。
- ②マニュアルを参照して気がついた点があれば、マニュアルの余白に記載
- ③必要があれば、実際に別の班に出向いて、報告したり、情報を収集する。
(情報カードを活用する)

(3) 《発表》【8分】

最も対応に困った状況とその理由を各班の班長(主任)が発表(各1分間)

(4) 《まとめ》【1分】

学校長による研修の総括

状況付与カード	
番号	2-1
配布時間	15:05
情報取得者	避難誘導
想定日時	1月22日 14:03
件名	
状況付与	・ガラスで、けがをした児童が1名。 ・家庭科室の火災は、未だ鎮火していない。 対応を検討してください
追加された状況	(どのようにして(誰から)、何を見た(知った)のか) ・避難人数は100名 ・負傷者3名
対応	・避難を受け入れる ・避難所支援班が南館4階のコンピュータ室に誘導する。 (追加状況に) 負傷者は救急医療班へ
対応班	対策本部

※配布される状況付与カードは、同じとは限らない

付与される状況

追加で得た状況

状況に対する対応

対応班名

シミュレーションの想定(例)

山崎断層帯による地震が発生

発生時刻	1月22日午前10時30分(2時限目)
震度	市内に震度6強の地震が発生

3. 研修

シミュレーション開始



4. 発表

災害時には、より一層の連携体制が求められます。
子どもたちの安全を確保するためにも防災訓練に真剣
に取り組み、学校防災体制を充実させましょう。

5. まとめ

災害時には、より一層の連携体制が求められます。
子どもたちの安全を確保するためにも防災訓練に真剣
に取り組み、学校防災体制を充実させましょう。

【応用編】災害対応シミュレーション

1. 研修のねらい

この研修パッケージは、災害発生時の動きを災害のシナリオと災害対応マニュアルをもとにシミュレーションすることで、連携等を確認し、マニュアルの課題や問題点の把握に活かすためのものです。

【この研修により生み出される効果】

- 緊迫した状況により災害発生時の状況をイメージできる。
- 災害時の意思決定や対応行動の訓練となる。
- 混乱した状況で、情報の収集、整理、伝達、共有化が迅速かつ確実に行うための課題を見つけることができる。

2. 進行上の留意点

- (1) 研修資料に沿って進行する。
- (2) 研修班の設定について
各学校の学校災害対策本部の班編制とし、各校の実状に合わせて設定する。(別紙1参照)
班ごとに机を囲んだ研修形態とする。
- (3) シミュレーションの想定について
発生日、曜日、発生時間を季節等を考慮し、各学校で設定してください。
また、校区の災害特性を追加して記載して結構です。
その際、例えば、南海トラフの巨大地震による津波が予想される地域では以下のように設定する。
例「東海・東南海・南海連動型地震が発生。市防災部局が示す津波浸水域に校区が入っており、
学校のある神戸市は最大4mの津波が90分で到達することが予想されている」
- (4) 状況付与カードの作成について
(別添)状況付与カードを作成するにあたり、学校の実状を考慮し、付与する状況を設定する。
その際、状況付与カードの状況付与内容一覧を参考に作成する。(別紙2参照)
- (5) 研修用災害対応マニュアルの準備について
研修用として、各学校作成のマニュアルより「学校災害対策本部の役割」「在校中の地震発生の対応」等を別冊で準備する。その際、見開きページとし、左ページにマニュアルの記載ページとし、右ページ研修の際にその都度メモできるよう白紙にする。(別紙3参照)
- (6) 状況付与カード(別紙4)の配布は、カードを該当する班へ設定した配布時間に沿って配布する。
- (7) 各班への情報伝達に、情報カードを使う。その際、ホワイトボードで情報整理できるようにする。
- (8) 研修終了後は、災害対応マニュアルの見直しや防災訓練の改善に活かす。

3. 事前の準備物

- ☐ 研修用災害対応マニュアル(別紙3): 全員分
- ☐ 状況付与カード(別紙2): 班数分
- ☐ 情報カード(別紙4): 各班20枚程度
- ☐ パソコン
- ☐ プロジェクタ
- ☐ スクリーン
- ☐ ホワイトボード

スライド（時間の目安）	進行原稿等
<u>スライド 1</u> （0:00:00～0:00:20） 防災校内研修資料 災害対応シミュレーション  兵庫県教育委員会事務局 教育企画課	これから、防災校内研修会を始めます。今日は、災害対応シミュレーションとして、皆さんに研修をしていただきます。
<u>スライド 2</u> （0:00:20～0:01:00） 1. 研修の目的 災害発生時の動きを災害のシナリオと災害対応マニュアルをもとにシミュレーションすることで、連携等を確認し、マニュアルの課題や問題点の把握に活かす。 【この研修により生み出される効果】 ○緊迫した状況により災害発生時の状況をイメージできる。 ○災害時の意思決定や対応行動の訓練となる。 ○混乱した状況で、情報の収集、整理、伝達、共有化を迅速かつ確実に行うための課題を見つけることができる。	この研修の目的は、災害発生時の動きを災害のシナリオと災害対応マニュアルをもとにシミュレーションすることで、連携等を確認し、マニュアルの課題や問題点の把握に活かすために行うものです。 この研修により生み出される効果として、 ○緊迫した状況により災害発生時の状況をイメージできる。 ○災害時の意思決定や対応行動の訓練となる。 ○混乱した状況で、情報の収集、整理、伝達、共有化を迅速かつ確実に行うための課題を見つけることができる。 等が挙げられます。
<u>スライド 3</u> （0:01:00～0:05:00） ※スライド 4 含む 2. 研修の進め方 【説明】研修の進め方【6分】 ①班長（又は主任）、付与カード記入者（副担任・班員）、情報カード伝達者（担任・班員）を分担する。 ②各班で状況を伝える「状況付与カード」を配布する。 ③研修は、付与された状況に対して、各班で災害対応マニュアルをもとに対応する。 【研修】【45分】 ①付与された状況に対応する。 ②マニュアルを参照して気がついた点があれば、マニュアルの余白に記載 ③必要があれば、実際に別の班に出向いて、報告したり、情報を収集する。（情報カードを活用する） 【発表】【8分】 最も対応に困った状況とその理由を各班の班長（主任）が発表（各1分間） 【まとめ】【1分】 学校長による研修の総括	研修は、班ごとに行いますので、まず各班で班長（又は主任）、付与カード記入者（副担任・班員）、情報カード伝達者（担任・班員）を分担してください。 研修は 45 分間で行います。研修開始後は、各班に状況を伝える「状況付与カード」を配布し、付与された状況に対して、各班で災害対応マニュアルをもとに対応するものです。 ※ここで一旦、次ページ記載の「状況付与カード」のページを表示し、どんなカードか説明します。【詳細は次ページに記載】カードの説明後、再びこのページにもどる。 研修中、マニュアルを参照して気がついた点があれば、マニュアルの余白に記載してください。また、情報カードを使用し、必要があれば、実際に別の班に出向いて、報告したり、情報を収集したりしてください。本部にとっては、情報が錯綜するので、情報カードを活用して、ホワイトボードに貼り出すとわかりやすくなります。 研修後は、各班の班長（主任）に最も対応に困った状況とその理由を発表（各 1 分間）してもらい、最後にまとめとして学校長による研修の総括をいただきます。

スライド4 (0:01:00～0:05:00)

※スライド3含む

※配布される状況付与カードは、同じとは限らない

班名	状況付与カード
2-1	付与される状況 ・ガラスで、けがをした児童が1名。 ・家庭科室の火災は、未だ鎮火していません。 ・対応を検討してください
避難所支援班	追加で得た状況 ・避難人数は100名 ・負傷者3名
対応班	状況に対する対応 ・避難を受け入れる ・避難所支援班が南館4階のコンピュータ室に誘導する。 ・負傷者を救急医療班へ
対策本部	対応班名

※この、状況付与カードは、クリックすると色つきの枠がスライドインします。

この状況付与カードは、進行が一定の時間に各班に配ります。内容については、次の内容が付与される状況だけ書かれています。

1, 付与される状況

各班にそれぞれ、状況が付与されます。そのため、状況が同じとは限りません。

2, 追加で得た状況

ここには、追加で得た状況として、他の班から得た状況を記入してください。「情報カード」等で得た情報を記入しておきます。

3, 状況に対する対応

状況付与、追加された状況に対してどう対応したか記入してください。

4, 対応班

その時に関わった班名を記載します。

なお、この状況付与カードは、研修終了後回収します。

※ 前ページにもどる。

スライド5 (0:05:00～0:06:00)

シミュレーションの想定(例)

山崎断層帯による地震が発生

発生時刻 1月22日午前10時30分(2時限目)

震度 市内に震度6強の地震が発生

それでは、シミュレーションの想定として、学校が山崎断層帯の近くにあることから、山崎断層帯による地震が発生したことを想定とします。発生時刻は、1月22日午前10時30分(2時限目)。

震度は、市内に震度6強の地震が発生したという想定です。

スライド6 (0:06:00～0:51:00)

3. 研修

シミュレーション開始



それでは、これからシミュレーションを開始します。

※ 状況付与カードを決めている配布時間に配る。

<u>スライド 7</u> (0:51:00～0:59:00) 4. 発表 災害時には、より一層の連携体制が求められます。 子どもたちの安全を確保するためにも防災訓練に真剣に取り組む、学校防災体制を充実させましょう。	それでは、最も対応に困った状況とその理由を各班の班長（主任）から発表していただきます。 発表は1分程度をお願いします。 【順次発表】 ありがとうございました。
<u>スライド 8</u> (0:59:00～1:00:00) 5. まとめ 災害時には、より一層の連携体制が求められます。 子どもたちの安全を確保するためにも防災訓練に真剣に取り組む、学校防災体制を充実させましょう。	最後に、学校長より、研修を行っての総括をお願いします。 【総括】 ありがとうございました。以上で、研修を終わります。

状況付与カード	
番号	2 - 1
配布時間	15:05
情報取得者	避難誘導
想定日時	1月22日 14:03
件名	
状況付与	
追加された状況	どのようにして（誰から）、何を見た（知った）のか
対応	（追加状況に対する対応）
	対応班